MITSUBISHI

0703874HE3301

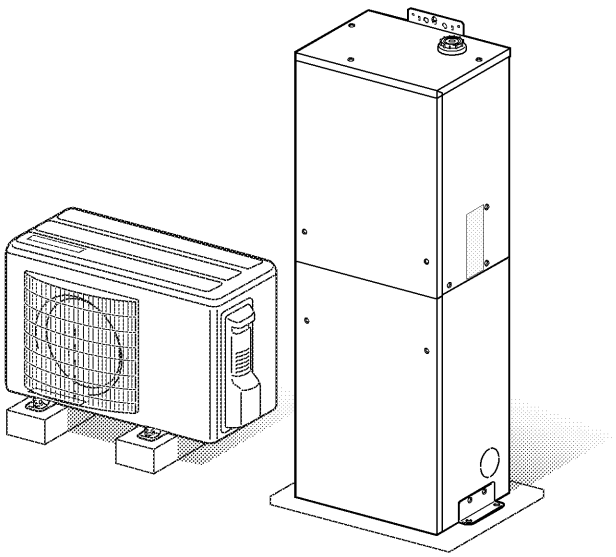
ヒートポンプ冷温水システム「エコヌクール ピコ」

形　名

VEH-406HCU-K3　〈熱交換ユニット：開放式〉
VEH-406HCU-M3　〈熱交換ユニット：密閉式〉
VEH-406HPU3　〈室外ユニット〉
VEH-406HPU3-H　〈室外ユニット：凍結防止ヒーター付〉
VEZ-20HT2　〈バックアップヒーターユニット〉
VEZ-4RC2　〈ルームリモコン〉
VEZ-406RCD2　〈熱源機リモコン〉

お客さま用

取扱説明書



● ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

次のようなマークで必要な情報を示しています。

メモ　細部の機能説明です。

知っ得情報　より便利にご使用いただくための情報です。

お 願 い　正しく使っていただくための情報です。

お知らせ　知っておくと便利な情報です。

■もくじ

お使いになる前に

安全のために必ず守ること……2
各部のなまえ……3
　床暖房システムの場合……3
　パネルヒーターシステムの場合……3
　据付機器……3
運転前の準備……4

使いかた

上手な使いかた ……5 ～ 6
床暖房システムの場合（ルームリモコンの使いかた）
　特長……7
　時刻合わせのしかた……8
　運転開始と停止のしかた……9
　室温調節のしかた……9
　ひかえめ運転のしかた……10
　タイマー運転のしかた……11 ～ 13
　湯温設定のしかた……14
　床温キープ設定のしかた……15
　ハイブリッド暖房のしかた……16
パネルヒーターシステムの場合（熱源機リモコンの使いかた）
　特長……17
　時刻合わせのしかた……18
　運転開始と停止のしかた……19
　冷暖房モードの設定のしかた……19
　水温設定のしかた……20
　ハイパワー運転のしかた……21
　ひかえめ運転のしかた……21
　タイマー運転のしかた……22 ～ 24

お手入れ・困ったとき

日常の点検・手入れ……25 ～ 26
定期点検……27
部品交換のしかた……27
「故障かな？」と思ったら……28
異常時の処置方法……29
もう一度お確かめください……30
保証とアフターサービス……31
仕様……裏表紙

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●防錆循環液を幼児の手の届くところに置いたり、飲んだりしない 万一、飲んだ場合はすぐに吐かせて、医師の診察を受けてください。
分解禁止	●分解・改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買上げの販売店または三菱電機修理窓口にご相談ください。
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の恐れがあります。

指示に従う	●異常時(こげ臭いなど)は運転を停止してブレーカーを切る 異常のまま運転を続けると火災の原因になります。 販売店または三菱電機 修理窓口に点検・修理をご相談ください。
接触禁止	●吹出口を押すなどの力を加えたり、指や棒を入れない ファンが高速で回転しており、けがや感電の恐れがあります。

⚠注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●防錆循環液のかわりに水や、自動車用不凍液を使用しない 循環液には 三菱純正防錆循環液 （濃度50%調整品　VPZ-10KX-ECO, VPZ-18KX-ECO）を必ず使用してください。 （水や自動車用不凍液を使用すると防錆効果が異なり、ポンプロック・システム寿命低下等の原因になります。）
禁止	●可燃性スプレー等を吹きつけない 火災の原因になります。
	●熱源機の上に乗ったり物を置かない 落下・転倒によるけがの原因になります。
	●特殊用途に使用しない （精密機器・食品・美術品等の保存） 品質低下などの原因になります。
	●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に据付けない 爆発の恐れがあります。
	●壁に20㎜以上のくぎを打たない 壁内の水配管を傷つけ、水漏れの原因になります。

禁止	●台所など直接炎があたる恐れのある場所では使用しない 火災の原因になります。
水かけ禁止	●製品に水をかけない。 ショートや感電の恐れがあります。
ぬれ手禁止	●ぬれた手でスイッチを操作しない 感電の原因になります。
水場使用禁止	●風呂、シャワー室では使用しない 火災や感電の原因になります。
指示に従う	●長時間使用しないときは、分電盤ブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	●お手入れの際は運転を停止し、ブレーカーを切る 感電やけがの原因になります。
	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。
	●湯温及び床温キープ設定を正しく行う 床材が薄い場合、高温に設定すると低温やけどの恐れがあります。

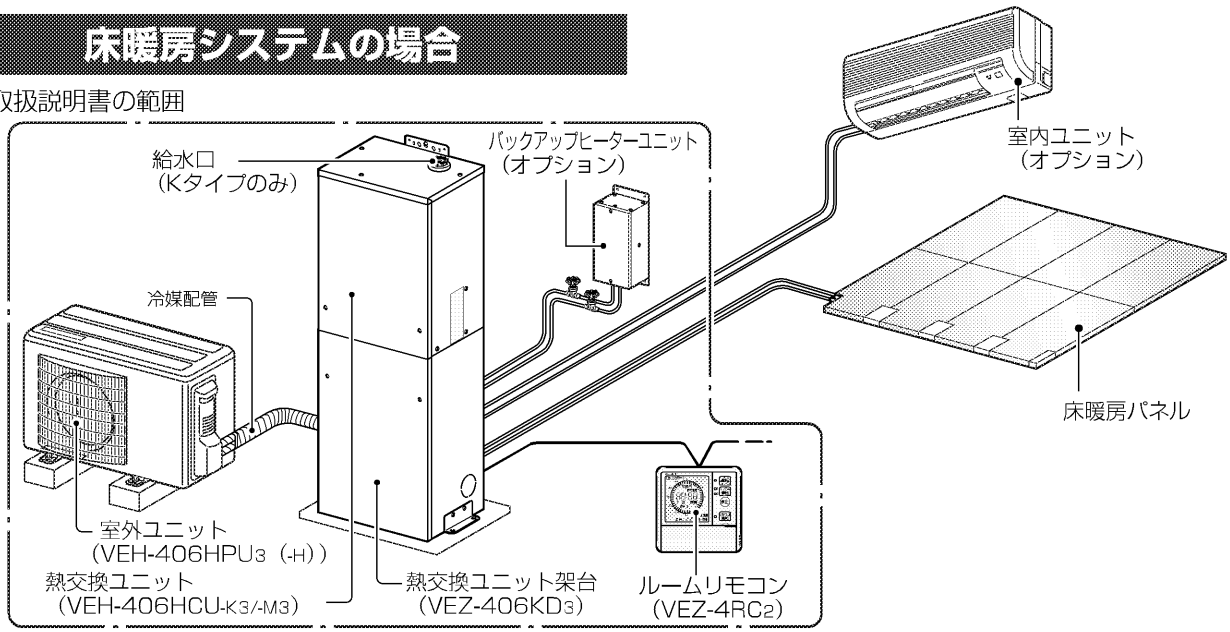
お願い

- ●製品に殺虫剤などをかけないでください。
  プラスチック部品は変質・変形し故障の原因になります。塗装部品は塗装がはがれて錆などの原因になります。
- ●リモコンコードが高温部分に触れないようにしてください。
- ●リモコンコードが鋭い角部に触れないようにしてください。

各部のなまえ

床暖房システムの場合

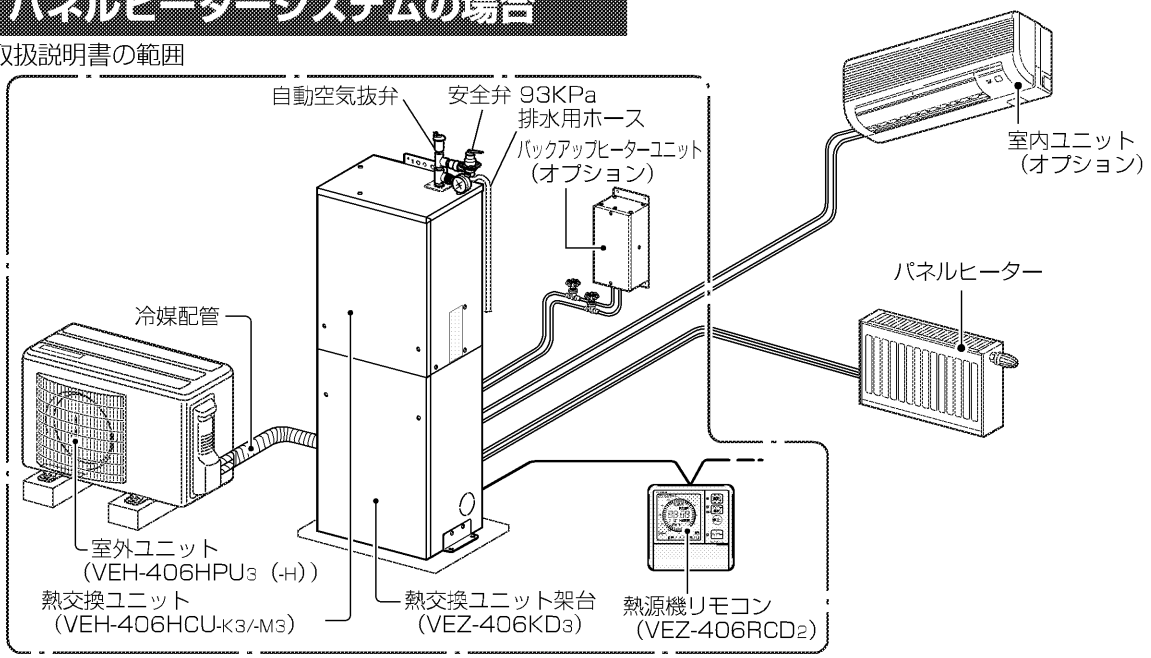
この取扱説明書の範囲



※システム構成の一例ですので、ご使用のシステムと異なる場合があります。

パネルヒーターシステムの場合

この取扱説明書の範囲



※システム構成の一例ですので、ご使用のシステムと異なる場合があります。

据付け機器

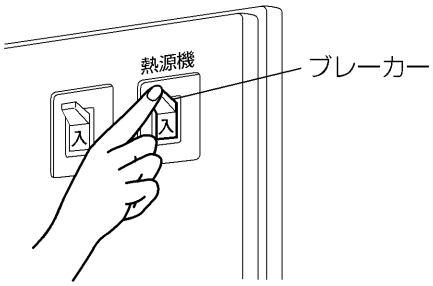
システム構成機器・機材の種類、形名	台　数	備考（据付日等）
室外ユニット（　　形）	台	
パネルヒーター	台	
床暖房パネル	畳 畳 畳	
室内ユニット（　　形）	台	
室内ユニット（　　形）	台	
ルームリモコン	台	
熱源機リモコン	台	
バックアップヒーターユニット	台	

運転前の準備

配電盤の熱源機用ブレーカーを「入」にする。
（バックアップヒーターユニットが据付けされている場合は、バックアップヒーターユニット用ブレーカーも「入」にする。）

お知らせ

室内ユニットをご使用の場合には、必ず室内ユニットの取扱説明書で事前に準備する内容をご確認ください。



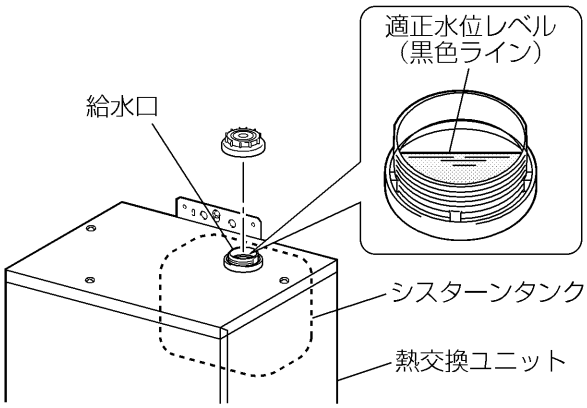
お 願 い

室内ユニットをご使用の場合には、そのブレーカーも「入」にしてください。
その場合、ブレーカーを入れる順序は、熱源機の電源を最後に入れるようにしてください。
（順序を守らないとシステムの立ち上がりに時間がかかります）

■防錆循環液の水位確認……（Kタイプのみ）

1 **本体に電源を投入した時にリモコンの「点検　水」表示が点滅しているか確認します。点滅しているときは防錆循環液を給水口から補給します。（補給の目安：約1ℓ）**

- 設置後1ヶ月間くらいは、施工時に配管から抜けきらなかった空気が抜け、急激に防錆循環液が減少することがあります。
- 防錆循環液が不足しますと、水切れ検知装置が作動して運転を停止します。



2 **シスターンタンク内に適正水位レベル位置がありますので、その位置まで防錆循環液が入ったか確認します。**

お 願 い

防錆循環液を適正水位レベル位置以上に入れないでください。
本体下部のドレン口から防錆循環液があふれ出します。

■温水配管からの防錆循環液漏れの確認

本体や温水配管接続部から防錆循環液が漏れていないか確認してください。

上手な使い方

ヒートポンプ冷温水システムの暖房運転は、温水温度を25～55℃程度の中低温水で、体温に近い心地よい暖房を行うものです。高温となる石油などのボイラー熱源にくらべ、お部屋のパネルヒーターなどの表面温度はあまり高くなりません。

■暖房シーズンはじめの上手な使い方

暖房シーズンはじめは、建物を暖める必要があり、そのためのエネルギーと時間が必要です。
料金の安い深夜電力をご利用できる方は料金の安い時間帯（夜間）を使って暖めていただくと経済的です。

■連続運転をおすすめします。

床暖房やパネルヒーターなどの輻射暖房は部屋が暖まるまで時間がかかるものです。
長時間ご使用にならないとき以外は連続運転（通常運転またはひかえめ運転）することをおすすめします。
外気温度が低いとき（おおよそー10℃以下）は連続運転をおすすめします。（間欠運転では、除霜回数が増え能力低下します）

■"ひかえめ運転"が経済的でおすすめです。

室温を設定温度より3℃低い温度で運転します（ルームリモコン）。P. 10
通常よりも暖房時は温水温度を5℃低く、冷房時は3℃高く運転します（熱源機リモコン）。P. 21
暖まりにくい時は、**“通常運転”**に切り替えてお使いください。

■帰宅時、起床時など立上りを少し早めたいときには…

"ハイパワー運転”や**“ハイブリッド暖房運転”**が便利です。
ハイブリッド暖房運転……室内ユニットとの連動暖房により素早く暖めることができます（ルームリモコン）。P. 16
ハイパワー運転……通常よりも高い温水温度にて暖房運転（熱源機リモコン）。P. 21
なお**ハイパワー運転は、通常運転時より消費電力が増えますので使いすぎないようご注意ください。**

■タイマー運転が便利です。（ルームリモコン P. 11～P. 13、熱源機リモコン P. 22～P. 24）

毎日くりかえす運転パターンを、30分単位できめこまかく設定することができます。
2つのタイマーパターンを用意。季節や住まい方に応じて使い分けできます。
（運転–停止パターンの**タイマー1**、通常運転–ひかえめ運転パターンの**タイマー2（24時間運転）**）

- ご利用の1時間くらい早めの運転をおすすめします。
  床暖房やパネルヒーターなどの輻射暖房は部屋が暖まるまで時間がかかるものです。
- 時間帯別電気料金をご利用の方はその時間帯にタイマーを合わせると経済的です。
  タイマー運転2を用いて料金の高い時間帯を“ひかえめ運転”に、安い時間帯を“通常運転”に設定すると経済的です。

■室温設定は22℃以下をおすすめします。P. 9

■湯温設定は「自動」をおすすめします。P. 14

室温、湯温は高くするとより多くのエネルギーを使います。
ただしお部屋の面積に対し床暖房の面積が小さい場合（LDKでリビングのみ使用する場合など）は、手動で低い温度設定からお使いいただき暖まりにくい場合に徐々に高くすることをおすすめします。（自動では水温が高めになりやすく、多くのエネルギーをつかいます）

▒使用上のご確認内容

■このシステムは、日本国内の平年の最低外気温度がー 25℃以上の地域で一般家庭における通常暖房用です。
（ー 20℃以下の発生頻度が年間 50 時間程度を考慮した製品のため、それを超えるような長時間低温が続く環境下ではご使用になれません）

■このシステムは、冷房運転と暖房運転ができますが、冷房運転と暖房運転を同時に行うことはできません。
冷房運転は、室内ユニットでのみ可能です。
（室内ユニットの操作方法は室内ユニットの取扱説明書をご覧ください）

■床暖房システムの場合
冷暖房モードは先に運転しているモードを優先します。
先に運転している冷暖房モードと異なる運転を設定したルームリモコンや室内ユニットでは、モード不一致の表示をして、運転待機状態となります。
例えば冷房から暖房にする場合は、冷房運転している室内ユニットを停止させてください。

〈モード不一致時の表示内容〉

室内ユニット	運転モニターランプが赤色で点滅
ルームリモコン	暖房表示を点滅

モード不一致の表示は、先に運転している冷暖房モードを変更または停止させることで解除します。

■パネルヒーターシステムの場合
熱源機リモコンの停止設定、冷暖房モード設定が優先されます。
熱源機リモコンにて停止設定、タイマー運転による切設定時は、室内ユニットにて運転操作しても、熱源機は停止のままで暖冷房できません。運転の準備中の表示を行い、運転待機状態となります。
室内ユニットを運転する場合は、まず熱源機リモコンにて運転設定をしてください。

■複数のお部屋を同時に運転開始すると、温水温度が上がらず、室温の上昇に時間がかかる場合があります。運転開始する時間をずらしてお使いいただくことをおすすめします。

■室内ユニットを暖房でお使いになるときは、立上り時の運転のみとし、お部屋が暖まったら床暖房あるいはパネルヒーターだけでお使いいただくことをおすすめします。

■停電があった場合、停電前の状態に自動復帰します。
ただし時計はリセットされ、タイマー運転時は停止の状態になります。
あらためて時刻を設定してください。P. 8, P.18

■外気温度がー 20℃を下回る場合は必ず連続運転でご使用ください。
（外気温度がおよそー 20℃を下回った状態からの運転を開始しようとすると室外ユニット保護のため、室外ユニットは運転しません）

■バックアップヒーターユニットの運転について
室外ユニット（ヒートポンプ）運転のみでは暖房能力が不足する場合にバックアップヒーターを運転します。
運転時はバックアップヒーターユニット下面の運転ランプが点灯します。

使いかた ルームリモコン

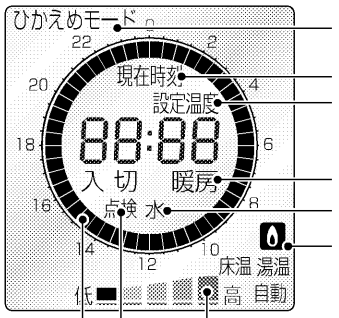
床暖房システムの場合（ルームリモコン VEZ-4RC2の使いかた）

ルームリモコンで、室内の床暖房（放熱器）の運転・停止と熱源機の温水温度を設定し、室温を調節します。

特　長

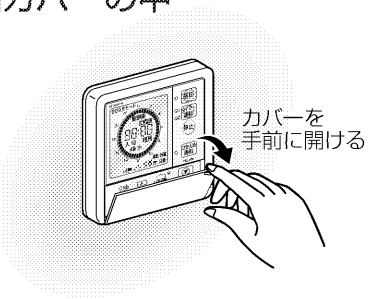
室温調節……8～30℃の範囲で設定できます。
温水調節……自動モードは、暖房負荷に合わせて温水温度を自動コントロールします。
5レベルの手動設定が可能です。
ひかえめ運転……室温を設定温度より3℃下げて運転します。
ハイブリット暖房運転……室内ユニットとの連動暖房により素早く暖めることができます。
2つのタイマー運転……毎日くりかえす運転パターンを、30分単位できめこまかく設定することができます。
2つのタイマーパターンを用意。季節や住まい方に応じて使い分けできます。
（運転-停止パターンのタイマー、通常運転-ひかえめ運転パターンのタイマー（24時間運転））

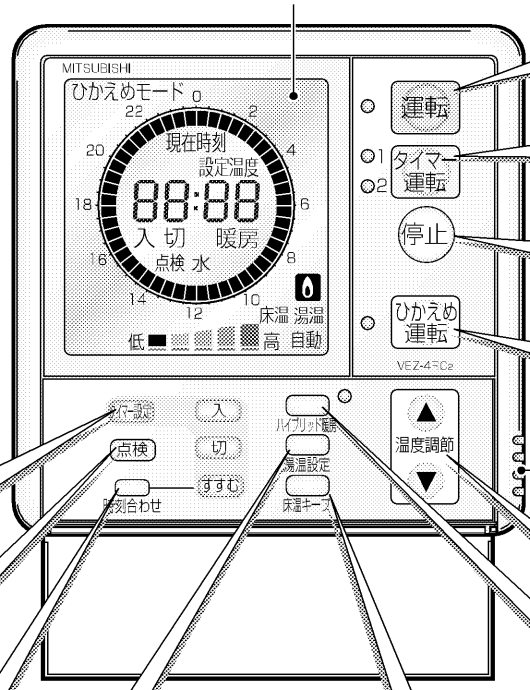
■表示部



ひかえめ運転表示
現在時刻表示
設定温度表示
暖房表示
水切れ表示
バックアップヒーターユニット運転表示
湯温・床温表示
エラー表示
タイマー表示

■カバーの中





表示部

運転スイッチ
通常運転します。P. 9

タイマー運転スイッチ
タイマー運転になります。
P. 11～P.13

停止スイッチ
停止します。P. 9

ひかえめ運転スイッチ
ひかえめ運転します。
P. 10

室温検知部

タイマー設定スイッチ
タイマー設定に使用します。
P. 11～P.13

点検スイッチ
エラーを再表示します。
P. 29

室温調節スイッチ
室温を調節します。P. 9

ハイブリッド暖房モード設定スイッチ
ハイブリッド暖房モードを設定します。P. 16

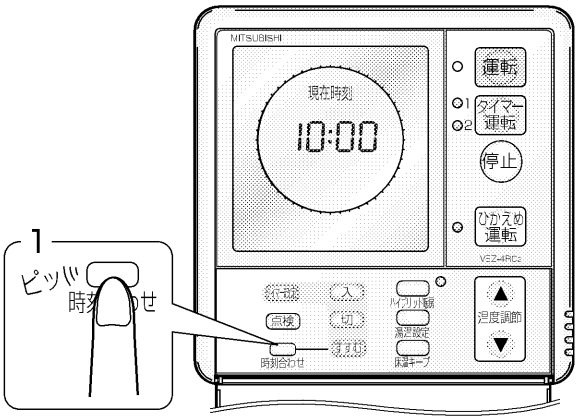
時刻合わせスイッチ
現在時刻を設定します。P. 8

湯温設定スイッチ
温水温度を設定します。P. 14

床温調節スイッチ
床温キープを設定します。P. 15

時刻合わせのしかた

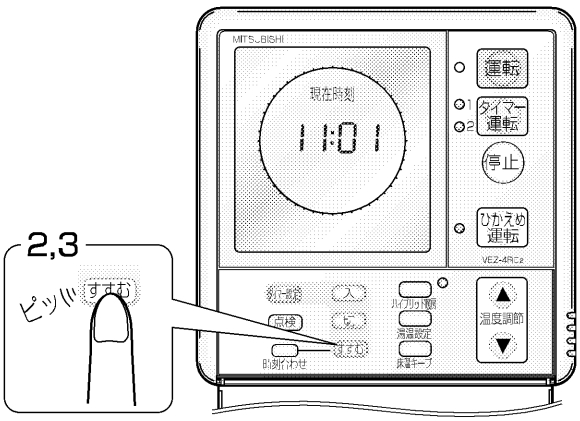
1 リモコンのカバーを開けて 時刻合わせ スイッチを押す 時が点滅します



メモ

- 時刻未設定時は [- -:- -] になります。
- 電源投入時はしばらくの間「C:C」が点滅し、スイッチ操作ができません。

2 <時の設定>を行う すすむ スイッチを押すたびに時の単位が11→12→13と変わります



3 <分の設定>を行う 時刻合わせ スイッチを押す 分が点滅します すすむ スイッチを押すたびに分の単位が1→2→3と変わります

メモ

- すすむ スイッチは押し続けると連続して変わります。

4 時刻合わせ スイッチを押して確定します

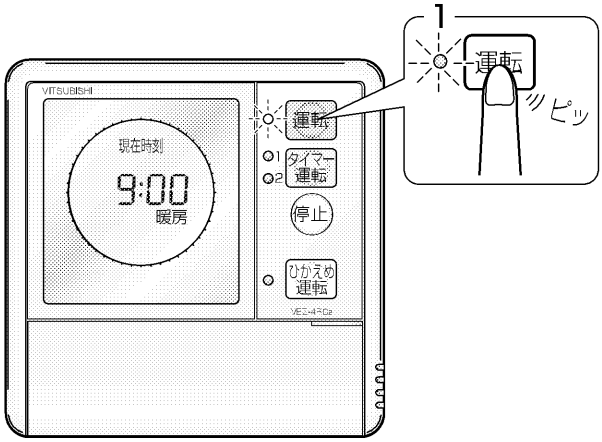
メモ

- 約 10 秒間スイッチ操作しないと自動的に確定します。
- 停電があった場合、時刻表示は [- -:- -] の点滅表示になります。
  再度時刻合わせを行ってください。

お知らせ

- ルームリモコンは、いずれか 1 つの設定で全てのリモコンの時刻を設定できます。

運転開始と停止のしかた



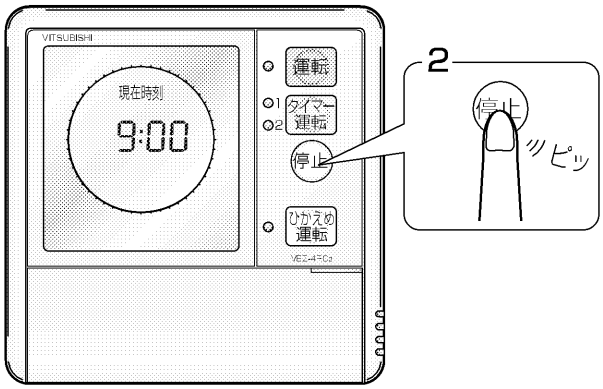
1 暖房運転開始

運転 スイッチを押す

運転ランプが点灯し、暖房表示が表示されます。
設定温度は表示されません。

メモ

- 外気温度が－25℃を下回っている、または室外ユニットの低外気温保護停止の場合は運転ランプを点滅してお知らせします。

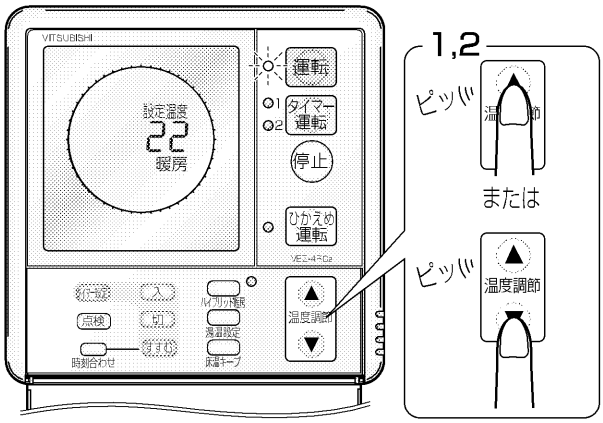


2 暖房運転停止

停止 スイッチを押す

運転ランプ、暖房表示が消灯します。

室温調節のしかた



1 リモコンのカバーを開けて温度調節 上げる または 下げる スイッチを１回押す

設定温度が表示されます。

2 上げる 下げる スイッチでお好みの室温に設定する

押すたびに設定温度が１℃ずつ変わります。
約10秒間スイッチ操作をしないと確定し、現在時刻表示に戻ります。

メモ

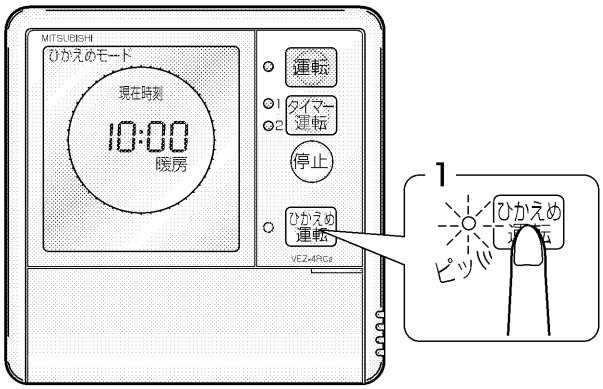
- 調節範囲は8℃～30℃ですが、暖房負荷により設定温度に達しない場合があります。
- お奨め設定温度は18～22℃です。
- 初期設定（工場出荷時）は「20℃」に設定されています。
- パネルヒーター用にルームリモコンを使用する場合は、室温調節はできません。連続運転になります。温度調節スイッチを押すと「PH」が表示されます。（据付工事時に設定します）

ひかえめ運転のしかた

1 ひかえめ運転開始

ひかえめ運転 スイッチを押す

ひかえめ運転ランプが点灯し、暖房表示、ひかえめモード表示が表示されます。



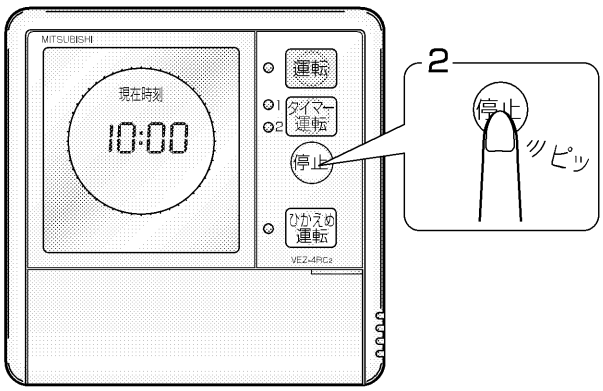
メモ

- 外気温度が－25℃を下回っている場合、または室外ユニットの低外気温保護停止の場合はひかえめ運転ランプを点滅してお知らせします。

2 ひかえめ運転停止

停止 スイッチを押す

ひかえめ運転ランプ、暖房表示、ひかえめモード表示が消灯します。
ひかえめ運転から通常運転へ変更する場合は、ひかえめ運転時に 運転 スイッチを押します。



メモ

- 室温を設定温度より3℃低い温度で運転します。

知っ得情報

経済的に運転したいとき、ご使用になると便利です。

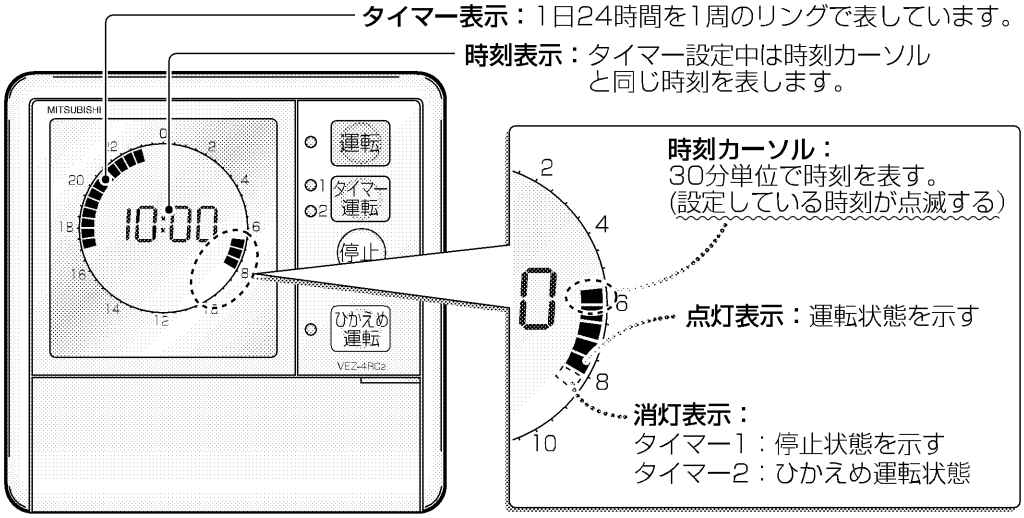
タイマー運転のしかた

タイマー運転とは

タイマー運転を上手に使うと生活のリズムに合った運転ができ、より快適な暖冷房をすることができます。
1日24時間、30分単位できめ細かく設定することができます。
タイマーは、一度設定すると毎日操作しなくても決まった時間に運転します。

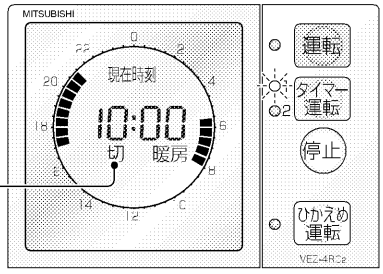
タイマー運転1は、運転と停止のパターンを設定することができます。
タイマー運転2は、運転（通常）とひかえめ運転のパターンを設定することができます（24時間運転）。

●タイマー表示について（30分単位の目盛りで、24時間の設定をひと目で確認できます）



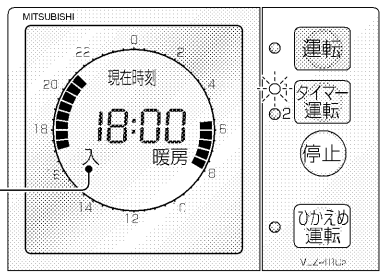
●タイマー表示例

タイマー運転1 運転時間例：　5：30～　8：00
　　17：00～21：00



停止状態時に表示

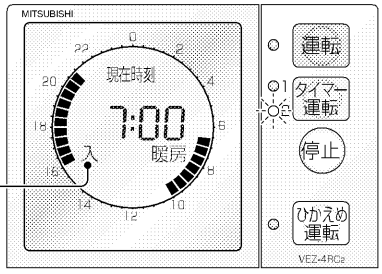
[停止状態]



運転状態時に表示

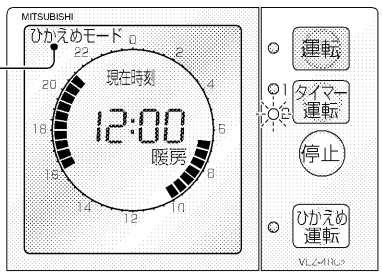
[運転状態]

タイマー運転2 運転（通常）時間例：　6：30～10：00
　　16：00～21：00



運転状態時に表示

[運転状態]



ひかえめモードで運転状態時に表示

[ひかえめ運転状態]

●外気温度がー25℃を下回っている、または室外ユニットの低外気温保護停止の場合はタイマー運転ランプを点滅してお知らせします。

知っ得情報

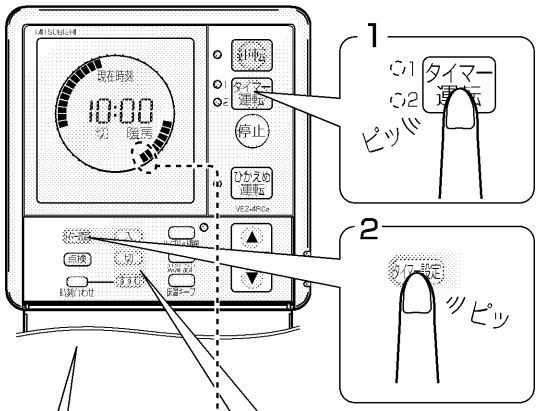
真冬など24時間暖房したい場合、タイマー運転2を用いれば、留守の時部屋をひかえめ運転とし、部屋を利用する時間を通常運転とすると経済的な運転ができます。

使いかた ルームリモコン つづき

1 タイマー運転の開始

タイマー運転 スイッチを押す

押すたびにタイマー運転1、タイマー運転2が切替ります。
タイマー運転1（または2）ランプが点灯し、タイマー表示、暖房表示が表示されます。



2 タイマー設定の変更

タイマー設定 スイッチを押す

タイマー設定表示となります。

3

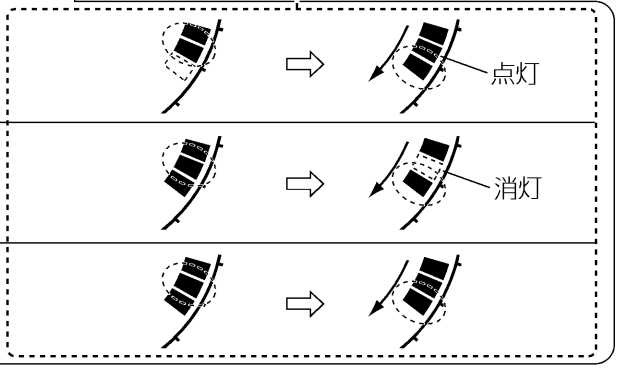
入、切、すすむ スイッチを使用して設定します

約 10 秒間スイッチ操作しないと、自動的に確定します。
確定後、タイマー運転表示になります。

メモ

- 現在時刻を設定しないと、タイマー運転、設定ができません。

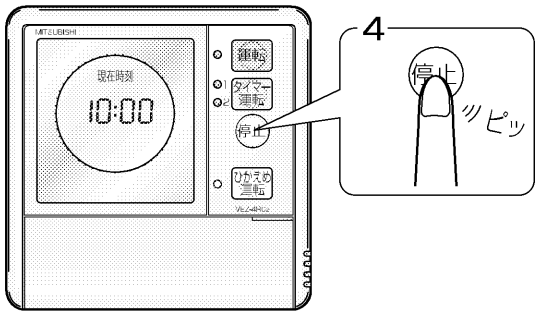
入	スイッチは時刻カーソルを点灯させ 1 つ進める。（□が■になります）
切	スイッチは時刻カーソルを消灯させ 1 つ進める。（■が□になります）
すすむ	スイッチは時刻カーソルを時計方向に進める。（表示は変えません：■は■、□は□のままです）



4 タイマー運転の停止

停止 スイッチを押す

タイマー表示、暖房表示が消灯します。



メモ

- タイマー表示の見方については P. 11 をご参照ください。

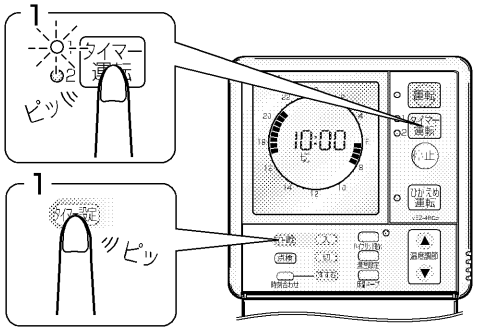
■タイマー設定の例

タイマー設定されている 17：00～21：00（タイマー運転 1）の運転を 18：00～23：00 に変更する場合

1

① タイマー運転 スイッチを押して、タイマー運転 1 にする

② タイマー設定 スイッチを押す

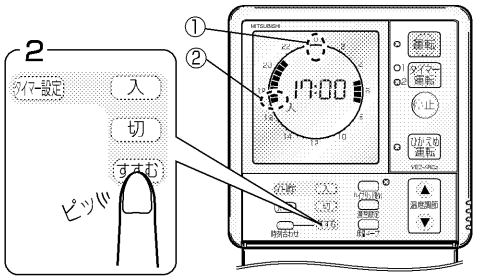


2

①0：00 のところで時刻カーソルが点滅する

② すすむ スイッチを押して 17：00 のところまで時刻カーソルを進める

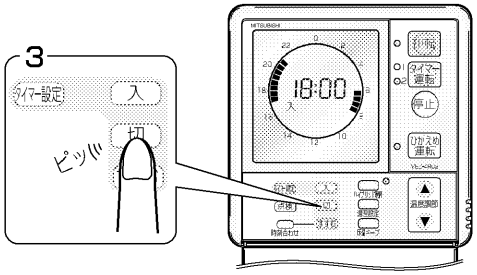
メモ
- 電源投入後、最初のタイマー設定変更時は 0：00 のところで時刻カーソルが点滅します。2 回目以降は最後に変更した時刻カーソルが点滅します。



3

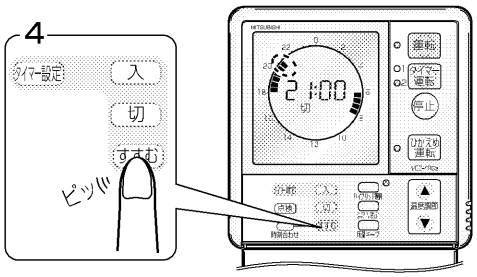
切 スイッチを 2 回押して 18：00 のところまで進める

- 17：00 と 17：30 に対応しているタイマー部分が消灯します。



4

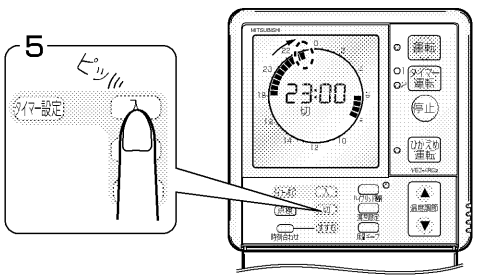
すすむ スイッチを 6 回押して 21：00 のところまで時刻カーソルを進める



5

入 スイッチを 4 回押して 23：00 のところまで進める

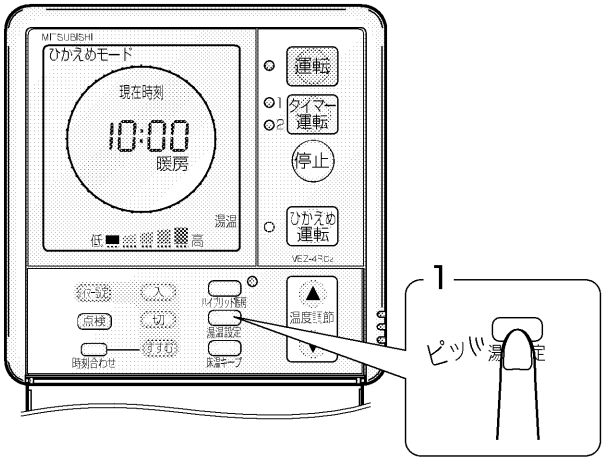
- 18：00～22：30 に対応しているタイマー部分が点灯します。
- 約 10 秒間スイッチ操作しないと、自動的に確定します。
  確定後、タイマー運転表示になります。



湯温設定のしかた

熱源機の温水温度を設定します

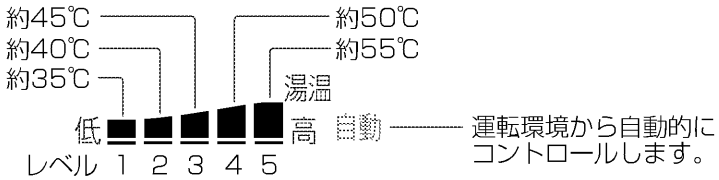
1 運転中にリモコンのカバーを開けて 湯温設定 スイッチを押し、湯温表示を表示する



メモ
- 湯温設定は、停止時には操作できません。

2 湯温設定 を押し、湯温を設定する

押すたびに、自動→レベル1→レベル2と切り替わります。



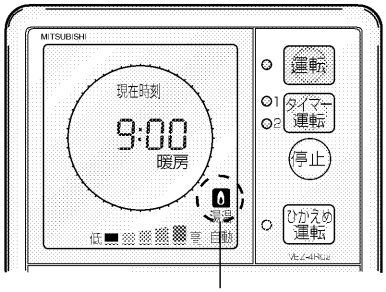
メモ
- 約 10 秒間スイッチ操作をしないと、自動的に確定し、湯温表示は消灯します。
- 初期設定（工場出荷時）は「自動」に設定されています。
- 複数のルームリモコンで別々の湯温設定はできません。最後に設定したリモコンの設定となります。

お知らせ

- 高い湯温設定で室温が高い場合、床温が高温となるのを防ぐ機能（ハイカット機能）が、はたらく場合があります。室温が高い状態では、湯温設定を自動または低め（レベル２以下）をおすすめします。

お知らせ

- バックアップヒーターユニット運転表示について
  点灯：バックアップヒーターユニットが運転しています。
  点滅：バックアップヒーターユニットの運転頻度が高くなっています。
  （1 日 10 時間以上運転しています）
  - 水温を下げて運転する方が経済的です。
  - 室外ユニットの吸込口、吹出口が雪などでふさがり、暖房能力が低下している可能性があります。
    室外ユニットをご確認ください。

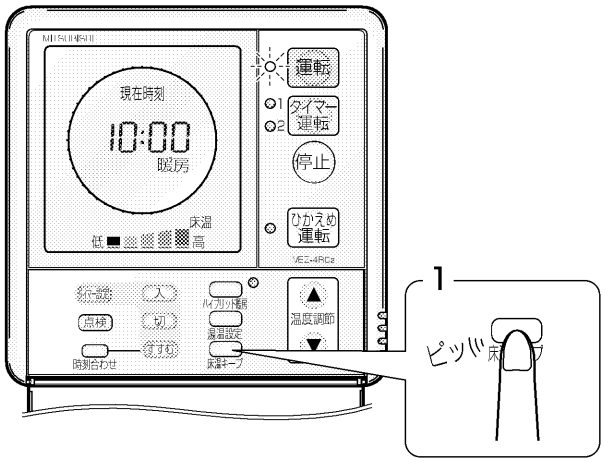


バックアップヒーターユニット運転表示

床温キープ設定のしかた

室温が設定温度となったとき、床温を適度な温度に保てるようコントロールしています。
床温キープ設定にて、お好みの床温コントロールが選べます。

1 運転中にリモコンのカバーを開けて 床温キープ スイッチを押し、床温表示を表示する

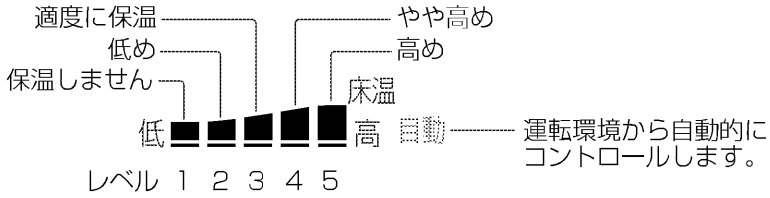


メモ

- 床温キープ設定は、停止時には操作できません。

2 床温キープ スイッチを押し、床温キープレベルを調節します

押すたびに、自動→レベル1→レベル2と切り替わります。



メモ

- 約 10 秒間スイッチ操作をしないと、自動的に確定し、床温表示は消灯します。
- パネルヒーターなど床暖房以外の場合でも有効です。保温のお好みを設定ください。
- 初期設定（工場出荷時）は「自動」に設定されています。

お知らせ

- 床材の厚みや材質によっては、同じ設定でも床温が異なる場合があります。
- 室温が日射などにより十分に暖められたときなどでも、床温キープにより床を暖かくすることができます。
- 床温を高く保持し続けると、室温が上昇する場合があります。その場合には室温調節より先に、床温キープ設定を低くしてください。

ハイブリッド暖房のしかた

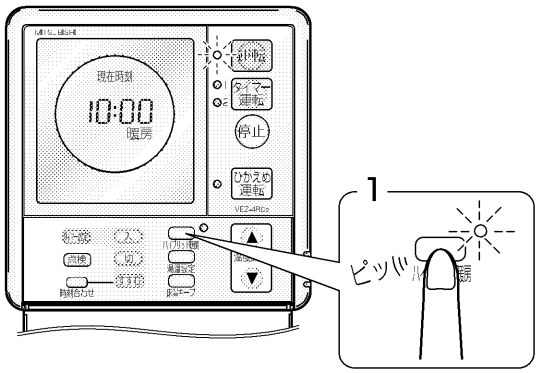
ハイブリッド暖房とは

床暖房と室内ユニットとを、連動させて暖房する機能です。
ハイブリッド暖房モード時は、暖房の室温の立上がりを早くするため、ルームリモコンでの運転開始や設定室温と室温の差が大きくなったときに、室内ユニットを運転させます。また、ルームリモコンを運転停止させたときに、室内ユニットも停止させます。

ハイブリッド暖房モードの設定

1 リモコンのカバーを開けて ハイブリッド暖房 スイッチを押す

押すたびに、ハイブリッド暖房モードの入、切が替わります。
ハイブリッド暖房モード入設定時は、ハイブリッド暖房モードランプが点灯します。



メモ

- 連動運転の初期（電源投入時、冷房→暖房変更時）の室内ユニットの設定温度は20℃です。（運転後は、お好みに合わせ、室内ユニットのリモコンで室内ユニットの運転、停止、設定温度などを設定してください）
  室内ユニットは連動運転中に一度設定（設定温度、風向、風速）を変更すると、次からはその設定で連動運転を開始します。
- 連動する室内ユニットはルームリモコンごとに 1 台のみです。また連動させるためには、据付工事時に設定が必要となります。
- 連動させる室内ユニットが存在しない場合は、スイッチを受けつけません。

使いかた 熱源機リモコン

パネルヒーターシステムの場合（熱源機リモコン VEZ-406RCD2の使いかた）

熱源リモコンで、熱源機の運転・停止および、冷温水温度を調節します。

特　長

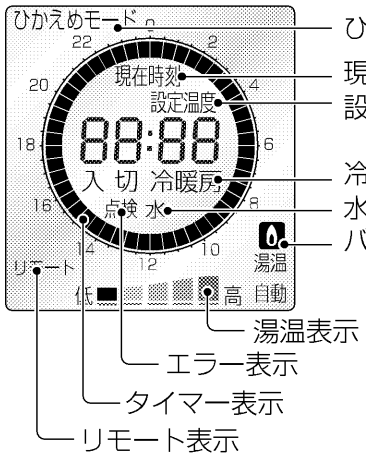
冷温水温度調節 …… 温水 25 ～ 55℃、冷水 7 ～ 20℃の範囲で設定できます。
自動モードは暖房負荷に合わせた水温を自動コントロールします（冷水は 7℃固定）。

ハイパワー運転 …… 通常よりも高い温水温度にて暖房運転。早く立ち上げたいときに有効です。

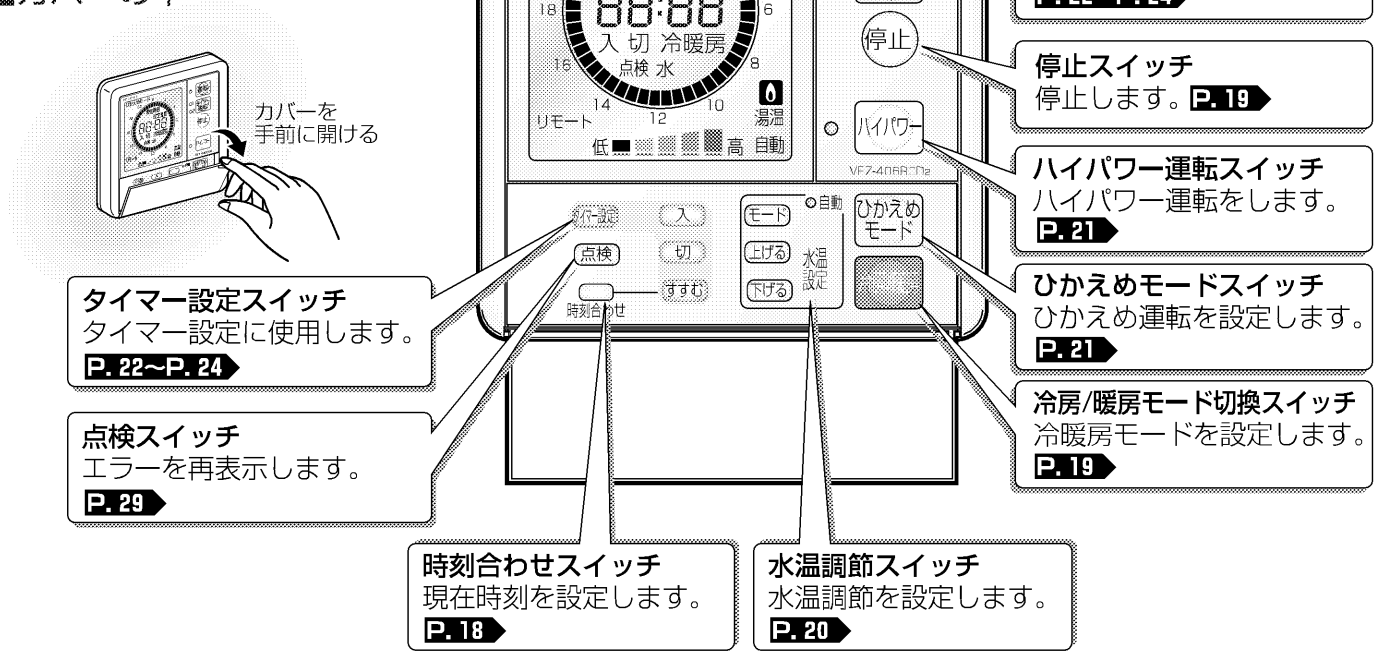
ひかえめ運転 …… 通常よりも暖房時は温水温度を 5℃低く、冷房時は 3℃高くに運転させる省エネ運転です。

2つのタイマー運転 …… 毎日くりかえす運転パターンを、30 分単位できめこまかく設定することができます。
2 つのタイマーパターンを用意。季節や住まい方に応じて使い分けできます。
（運転 - 停止パターンのタイマー、通常運転 - ひかえめ運転パターンのタイマー（24 時間運転））

■表示部



■カバーの中

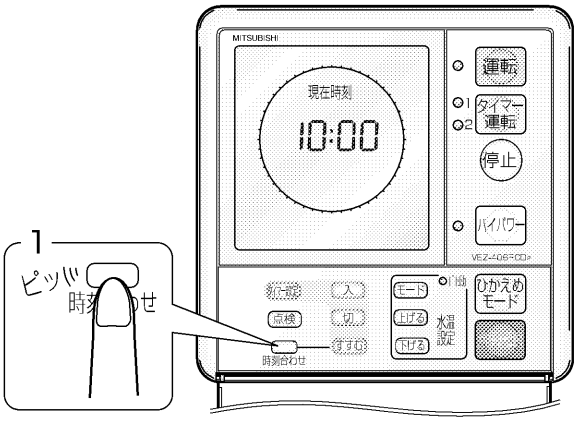


※表示部に「リモート」表示が点滅した場合 P. 29

使いかた 熱源機リモコン つづき

時刻合わせのしかた

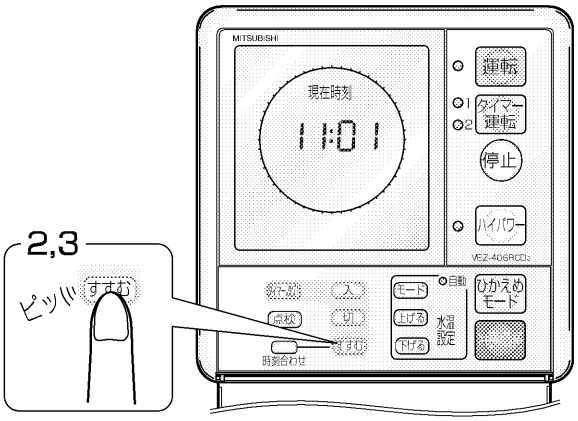
1 リモコンのカバーを開けて
時刻合わせ スイッチを押す
時が点滅します



メモ
- 時刻未設定時は [- -:- -] になります。
- 電源投入時はしばらくの間「[:[」が点滅し、スイッチ操作ができません。

2 ＜時の設定＞を行う
すすむ スイッチを押すたびに時の単位が11→12→13と変わります

3 ＜分の設定＞を行う
時刻合わせ スイッチを押す
分が点滅します
すすむ スイッチを押すたびに分の単位が1→2→3と変わります



メモ
- すすむ スイッチは押し続けると連続して変わります。

4 時刻合わせ スイッチを押して確定します

メモ
- 約 10 秒間スイッチ操作しないと自動的に確定します。
- 停電があった場合、時刻表示は [- -:- -] の点滅表示になります。
再度時刻合わせを行ってください。

運転開始と停止のしかた

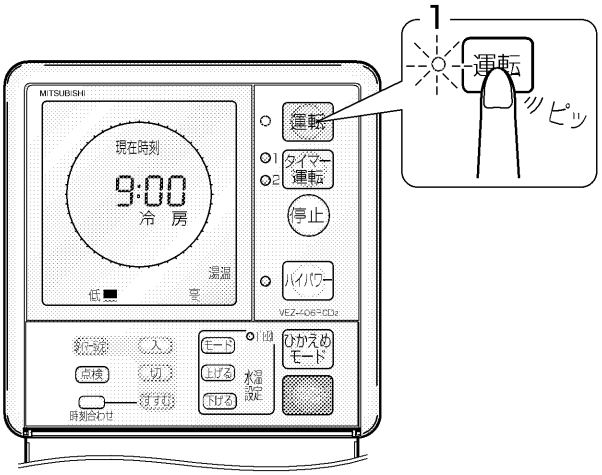
1 運転開始

運転スイッチを押す

運転ランプが点灯し、湯温表示・冷暖房運転表示が表示されます。
放熱機へ冷温水を供給します。

メモ

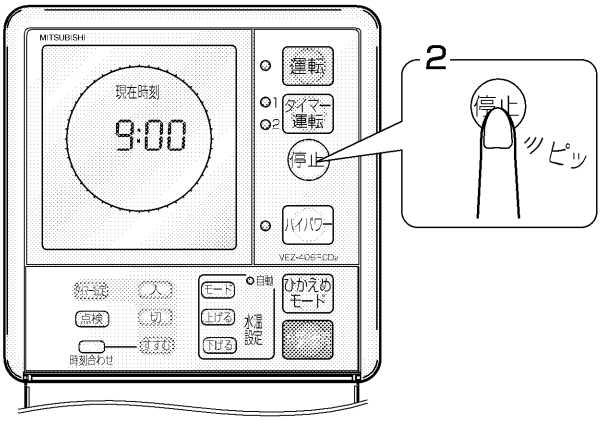
- 外気温度がー 25℃を下回っている、または室外ユニットの低外気温保護停止の場合は運転ランプを点滅してお知らせします。



2 運転停止

停止スイッチを押す

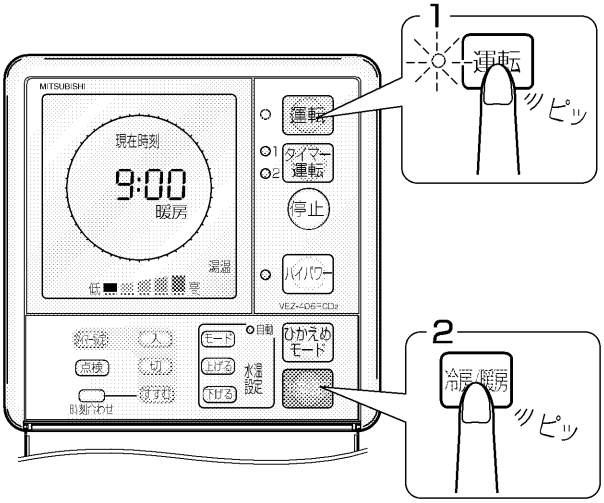
運転ランプ、湯温表示、運転表示が消灯します。
運転停止し、放熱機への冷温水供給が停止します。



冷暖房モードの設定のしかた

1

運転スイッチを押して運転にします



2

リモコンのふたを開けて、冷房/暖房スイッチを押すたびに冷房（冷水）、暖房（温水）が切り替わります

メモ

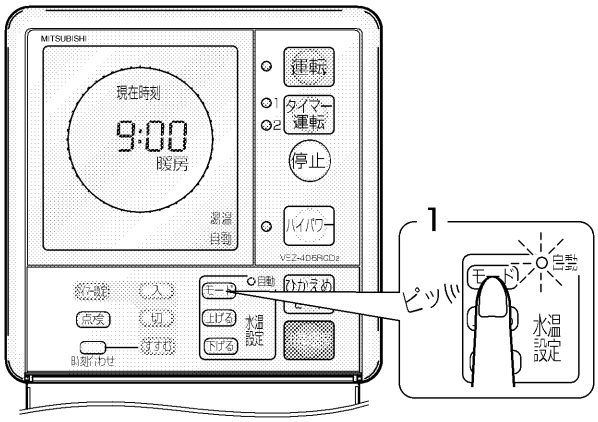
- 冷房を利用しないシステムでは、スイッチを押しても切り替わりません。（冷房を利用する場合は据付工事時に設定します）

使いかた 熱源機リモコン つづき

水温設定のしかた

1 (モード)スイッチを押すたびに

自動と手動設定が切り替わります。
自動設定時は、湯温自動表示と自動ランプが点灯します。手動設定時は、設定温度を数値で表示します。



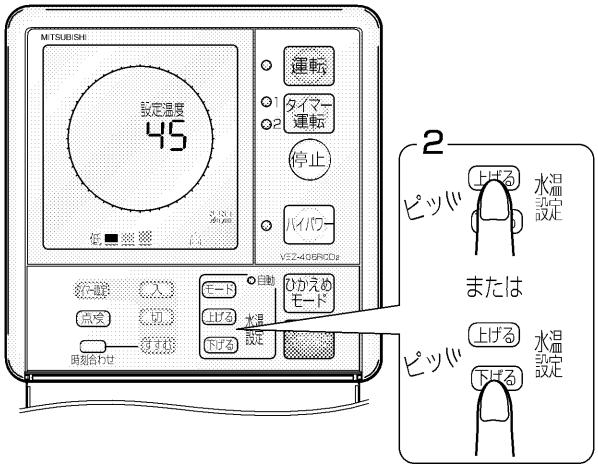
お知らせ

- 自動設定時は運転状態や外気温により水温を自動的にコントロールします。(冷房時は7℃固定)

2 手動設定する場合

(上げる)(下げる)スイッチでお好みの水温に設定できます。
押すたびに設定水温が1℃ずつ変わります。

暖房時　25～55℃
冷房時　 7～20℃



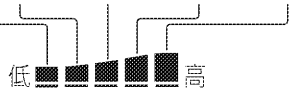
お知らせ

- 初期設定(工場出荷時)は「自動」に設定されています。

お知らせ

- 水温レベル表示の目安

暖房時　～37　～42　～47　～52　53～　(℃)
冷房時　～　8　～11　～14　～17　17～　(℃)

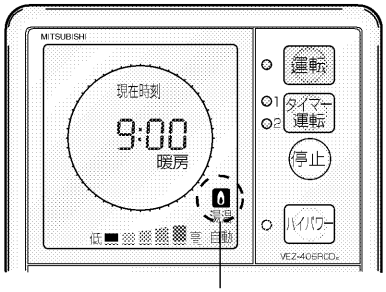


お知らせ

- バックアップヒーターユニット運転表示について

点灯：バックアップヒーターユニットが運転しています。
点滅：バックアップヒーターユニットの運転頻度が高くなっています。
(1日10時間以上運転しています)

- 水温を下げて運転する方が経済的です。
- 室外ユニットの吸込口、吹出口が雪などでふさがり、暖房能力が低下している可能性があります。
室外ユニットをご確認ください。



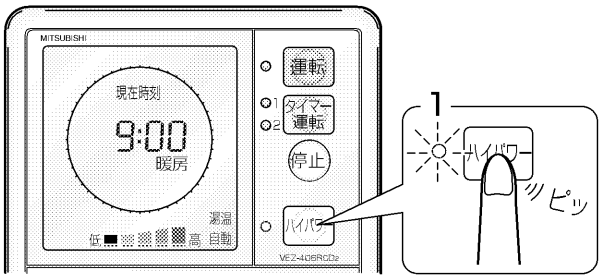
バックアップヒーターユニット運転表示

ハイパワー運転のしかた

1 ハイパワー運転開始

ハイパワー スイッチを押す

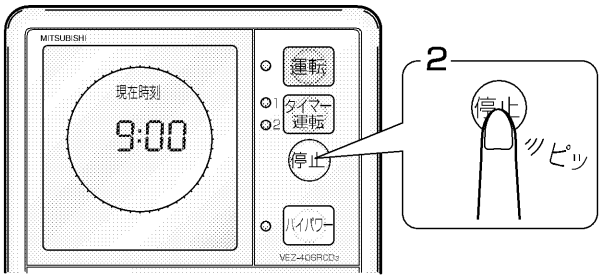
ハイパワー運転ランプが点灯し、湯温表示、冷暖房運転表示が表示されます。



2 ハイパワー運転停止

停止 スイッチを押す

ハイパワー運転ランプ、湯温表示、冷暖房運転表示が消灯します。
ハイパワー運転から通常運転へ変更する場合は、ハイパワー運転時に運転スイッチを押します。



メモ

- 暖房時は温水を 60℃、冷房時は水温 7℃にて運転します。
- ハイパワー運転を停止すると水温設定は「自動」に戻ります。
- 外気温度がー 25℃を下回っている、または室外ユニットの低外気温保護停止の場合は、ハイパワー運転ランプを点滅してお知らせします。

知っ得情報

お掃除などで、お部屋の温度が一時的に下がったときなどにお使いください。

お知らせ

- 暖房負荷が大きい場合やバックアップヒーターユニットがない場合は、ハイパワー運転にしても水温が上がらないことがあります。

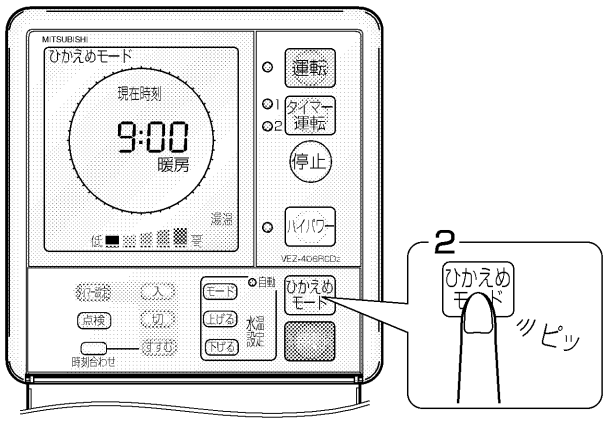
ひかえめモード設定のしかた

1 通常運転またはタイマー運転1にします

P. 19
P. 23

2 ひかえめモード スイッチを押すたびに

ひかえめモードの設定入切が切り替わります。
ひかえめモード設定入時に、ひかえめモード表示が表示されます。



メモ

- 通常運転時より暖房時は温水の温度を 5℃低く、冷房時は 3℃高く運転することにより、経済的な運転ができます。
- 室温が 2 ～ 3℃低下（冷房時では上昇）することがあります。

知っ得情報

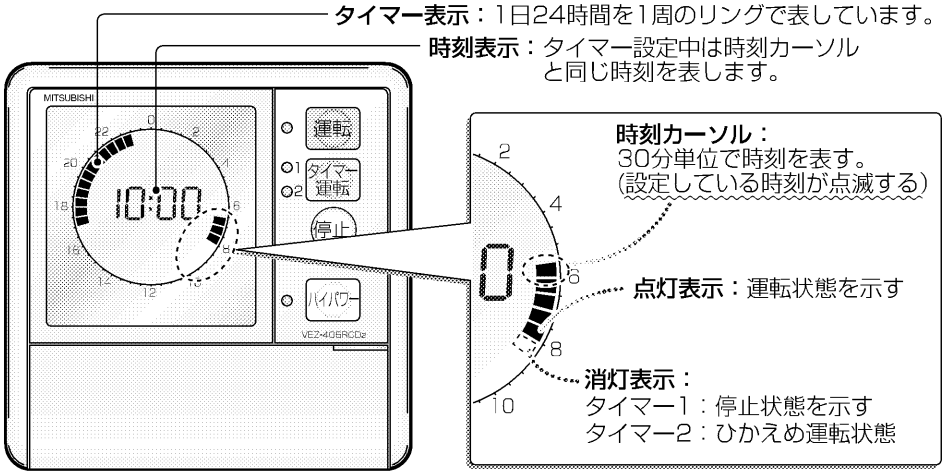
経済的に運転したいとき、ご使用になると便利です。

タイマー運転のしかた

タイマー運転とは

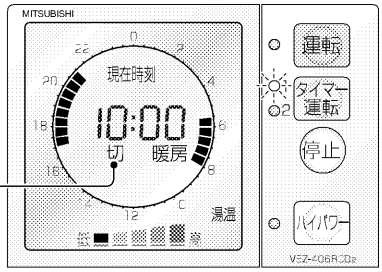
タイマー運転を上手に使うと生活のリズムに合った運転ができ、より快適な暖冷房をすることができます。
1日24時間、30分単位できめ細かく設定することができます。
タイマーは、一度設定すると毎日操作しなくても決まった時間に運転します。
タイマー運転1は、運転と停止のパターンを設定することができます。
タイマー運転2は、運転（通常）とひかえめ運転のパターンを設定することができます（24時間運転）。

●タイマー表示について（30分単位の目盛りで、24時間の設定をひと目で確認できます）



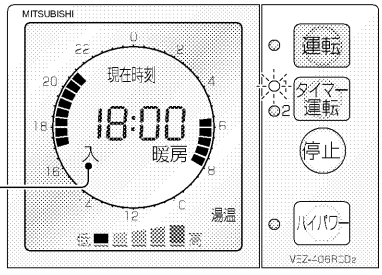
●タイマー表示例

タイマー運転1 運転時間例： 5：30～ 8：00
17：00～21：00



停止状態時に表示

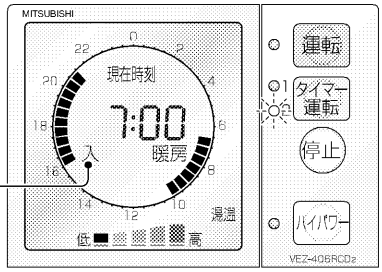
[停止状態]



運転状態時に表示

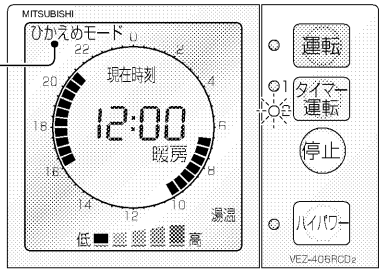
[運転状態]

タイマー運転2 運転（通常）時間例： 6：30～10：00
16：00～21：00



運転状態時に表示

[運転状態]



ひかえめモードで運転状態時に表示

[ひかえめ運転状態]

メモ
- タイマー運転1の運転状態をひかえめ運転にできます。このときは、ひかえめ運転 P. 21 と停止のタイマー運転となります。
- 外気温度が－25℃を下回っている、または室外ユニットの低外気温保護停止の場合はタイマー運転ランプを点滅してお知らせします。

知っ得情報

真冬など24時間暖房したい場合、タイマー運転2を用いれば、留守の時部屋をひかえめ運転とし、部屋を利用する時間を通常運転とすると経済的な運転ができます。

■タイマー運転および設定のしかた

1 タイマー運転の開始

タイマー運転 スイッチを押す

押すたびにタイマー１とタイマー２が切り替わります。

2 タイマー設定の変更

タイマー設定 スイッチを押す

タイマー設定表示となります。

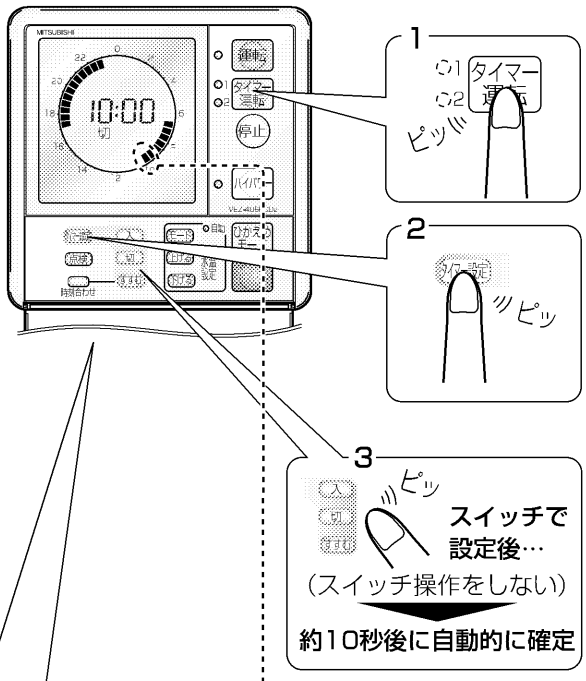
3

入、切、すすむ スイッチを使用して設定します

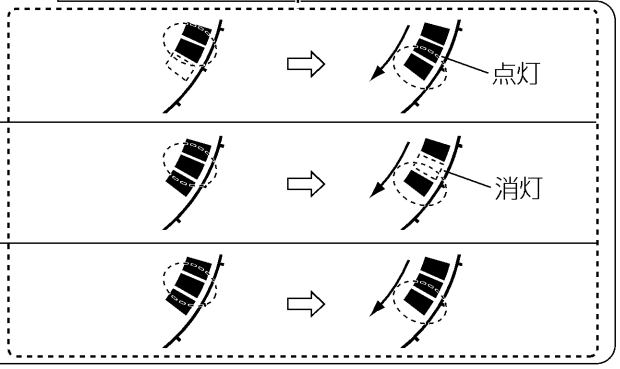
約 10 秒間スイッチ操作しないと、自動的に確定します。
確定後、タイマー運転表示になります。

メモ

- 現在時刻を設定しないと、タイマー運転、設定ができません。



入	スイッチは時刻カーソルを点灯させ１つ進める。（□が■になります）
切	スイッチは時刻カーソルを消灯させ１つ進める。（■が□になります）
すすむ	スイッチは時刻カーソルを時計方向に進める。（表示は変えません：■は■、□は□のままです）



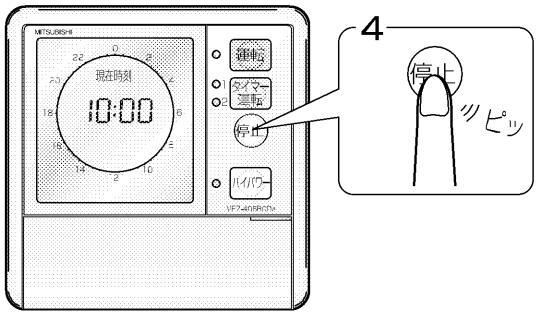
4 タイマー運転の停止

停止 スイッチを押す

タイマー表示が消灯します。

メモ

- タイマー表示の見方については P. 22 をご参照ください。



使いかた 熱源機リモコン つづき

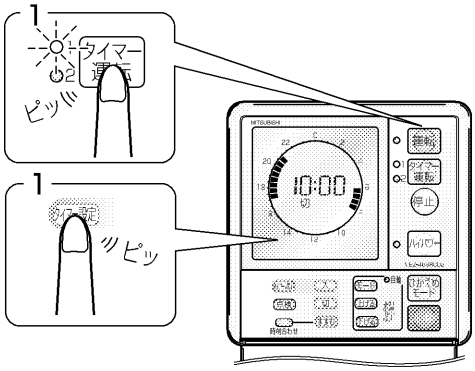
■タイマー設定の例

タイマー設定されている 17：00～21：00（タイマー運転 1）の運転を 18：00～23：00 に変更する場合

1

① タイマー運転 スイッチを押して、タイマー運転 1 にする

② タイマー設定 スイッチを押す

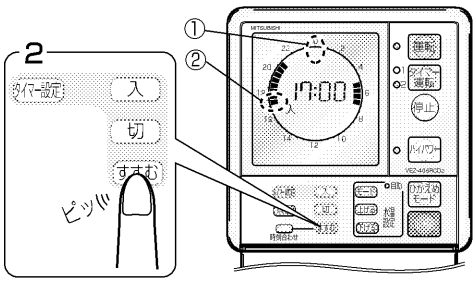


2

①0：00 のところで時刻カーソルが点滅する

② すすむ スイッチを押して 17：00 のところまで時刻カーソルを進める

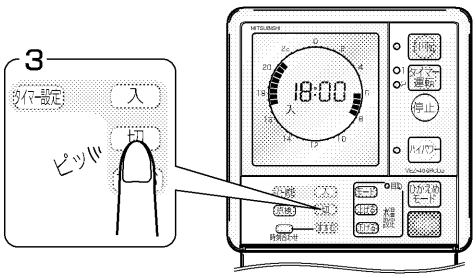
メモ
- 電源投入後、最初のタイマー設定変更時は 0：00 のところで時刻カーソルが点滅します。2 回目以降は最後に変更した時刻カーソルが点滅します。



3

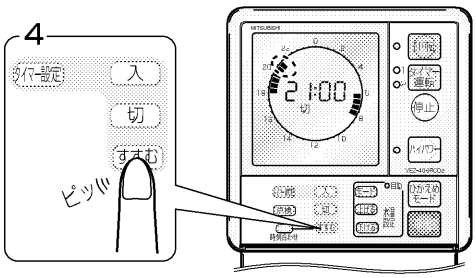
切 スイッチを 2 回押して 18：00 のところまで進める

- 17：00 と 17：30 に対応しているタイマー部分が消灯します。



4

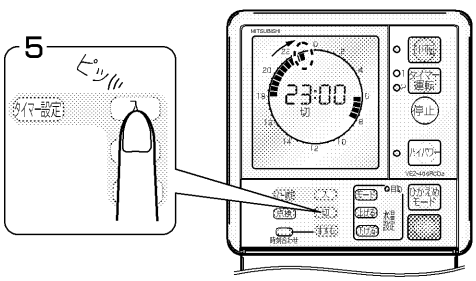
すすむ スイッチを 6 回押して 21：00 のところまで時刻カーソルを進める



5

入 スイッチを 4 回押して 23：00 のところまで進める

- 18：00～22：30 に対応しているタイマー部分が点灯します。
- 約 10 秒間スイッチ操作しないと、自動的に確定します。
  確定後、タイマー運転表示になります。



日常の点検・手入れ

⚠注意

- お手入れの際は運転を停止し、ブレーカーを切る（感電やけがの原因。）
- お手入れの際は手袋を着用する（着用しないとけがの原因。）
- お手入れの際は製品が冷えた状態で行う（やけどの原因。）

お 願 い

■お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学雑巾の薬剤、クレンザーなどけんま材入りの洗剤（塗装がはがれたり、変質する原因になります）

■冷温水配管にあるバルブは操作しないでください。

■リモコンのお手入れ

- やわらかい布でから拭きします。

■室外ユニット、熱交換ユニットのお手入れ

- 室外ユニットの吹出し口や吸込み口がふさがると能力低下や故障の原因になります。通気が確保できるように障害物を除いてください。

■室内ユニットのお手入れ

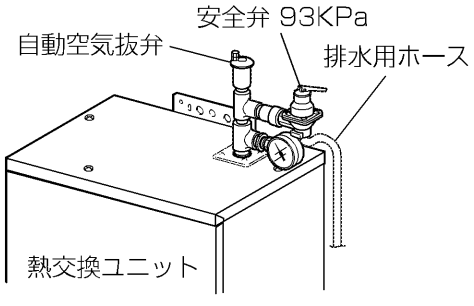
- フィルター部にゴミやほこりがたまると、冷暖房能力が落ち、電気代のムダが生じたり、吹出口に露がつく原因になります。エアフィルターを清掃してください（目安：２週間に１回以上）。
  詳しい手順や他のお手入れについては、室内ユニットの取扱説明書でご確認ください。

■冷温水の点検

- 冷房運転時にはパネルヒーター、床暖房パネルには冷水が流れない構造になっていますが、もし冷房運転中にパネルヒーターや床暖房パネルが冷えていたり結露している場合には、冷水が流れている可能性がありますので、お買上げの販売店にご連絡ください。
- 熱交換ユニット本体や配管接続部から防錆循環液が漏れていないか点検してください。

■圧力計の指示値の点検（M タイプのみ）

- 圧力計の指示値を点検し、圧力が徐々に下がっていくようであれば、配管内に残っていたエアーが抜けたか、あるいは循環水が漏れている可能性がありますので、お買上げの販売店にご連絡ください。
  〔暖房運転時の圧力計指示値目安 50KPa～80KPa〕



■室外ユニット近傍の除雪

- 降雪地域でご使用の場合、室外ユニットの吸込口、吹出口が雪で埋まることがないように室外ユニット近傍の除雪を行ってください。

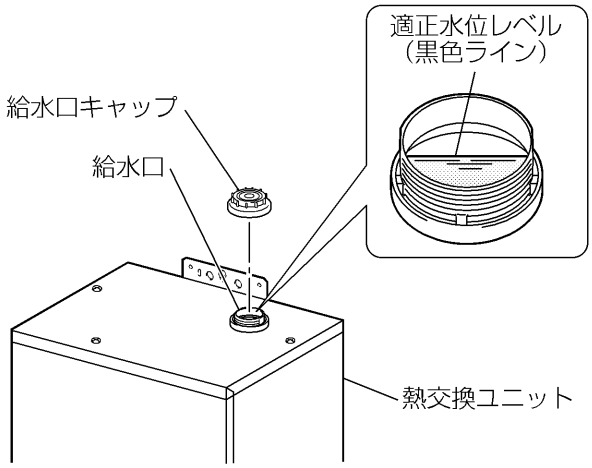
■停電があった場合、時刻は［--:--］を点滅表示します。再度時刻合わせを行ってください。

日常の点検・手入れ つづき

防錆循環液の点検

●防錆循環液の水位確認と補給（K タイプのみ）
シーズンはじめの点検をおすすめします。シスターンタンク内の防錆循環液は少しずつ蒸発しますので、適量まで補給します。

1 給水口キャップをはずす



2 三菱純正防錆循環液を適正水位レベルまで入れる

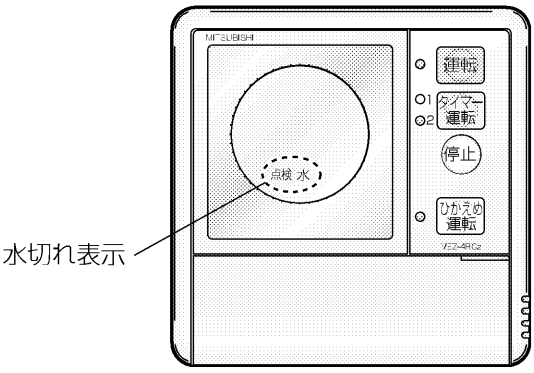
- 純正品を使用しないと故障の原因になります。
- 水は入れないでください。

（補給に使用する防錆循環液の費用はお客様のご負担となります）

3 給水口をのぞいて、タンク背面の適正レベルまで防錆循環液が入ったか確認する

4 給水口キャップを閉め、運転開始する

- 適正レベル位置以上に防錆循環液を入れますと暖房運転の際、本体下部のドレン口より、防錆循環液があふれ出ることがあります。



メモ

- ある程度、蒸発しても運転は可能ですが、運転に支障が生じるまで不足すると、水切れとして運転を停止し、水切れの表示をします。

お知らせ

- 1ヶ月間に数回、水切れ表示となる場合は水漏れの可能性がありますので、本体や温水配管接続部から防錆循環液が漏れていないか確認してください。
- 防錆循環液の定期点検（K タイプ、M タイプ共通）
長期ご利用いただくためにも、防錆循環液は２年に１回点検（液量、濃度）が必要です。お買上げの販売店または三菱電機 修理窓口に依頼してください。（防錆循環液の性能は時間経過により低下し、凍結、破損、腐食の原因になります）

定期点検 定期点検制度の加入をおすすめします。

長期間ご使用いただくためには機器の点検が必要になります。長く安心してご使用いただくために定期点検の加入が必要です。お買上げの販売店、または三菱電機 修理窓口でお申込みください。
定期点検・交換部品の費用はお客さまにご負担いただきます。

●定期点検について

からだの変化や健康の状態を確認する「健康診断」と同じです。どんな状態かチェックすることで、目に見えにくい所のお手入れの時期を見極め、早めの対処を施すことができます。からだの健康を維持することが結果的に経済的であるように、設備も定期的に点検しておくことがお得となります。病気になりにくい身体を維持するために、定期的な点検をお勧めします。なお、点検は長寿命を保証するものではありません。

●主な点検項目：防錆循環液（2年毎）

部品交換のしかた

長期間のご使用で、消耗、劣化する部品があります。
お買上げの販売店、またはお近くの三菱電機 修理窓口にお問い合わせください。
定期点検・交換部品の費用はお客さまにご負担いただきます。

■点検部品と交換部品の目安

〈熱交換ユニット〉

種　類	部　品	時　期	備　考
点検・清掃部品	●水フィルター ●防錆循環液（※1）	2年毎	点検・清掃 点検（液量、濃度）
定期交換部品	●防錆循環液（※1）	10年毎	全量交換・配管内洗浄
交換部品	●循環ポンプ　●熱交換器 ●温水タンク　●制御基板 ●各種センサー	不具合発生時	

※1：防錆循環液（三菱純正防錆循環液　VPZ-10KX-ECO、-18KX-ECO）

〈室外ユニット〉

種　類	部　品	時　期	備　考
交換部品	●ファンモーター　●圧縮機 ●冷媒回路部品　●制御基板 ●各種センサー　●ヒーター	不具合発生時	

〈バックアップヒーターユニット〉

種　類	部　品	時　期	備　考
交換部品	●電気ヒーター　●制御部品	不具合発生時	

〈室内ユニット〉

種　類	部　品	時　期	備　考
点検・清掃部品	●熱交換器	3～5年毎	点検・清掃
交換部品	●ファンモーター　●制御基板 ●熱交換器　●ドレンポンプ	不具合発生時	
	●乾電池（ワイヤレスリモコン用）	約1年	アルカリ乾電池 単4型　2個

〈リモコン〉

種　類	部　品	時　期	備　考
交換部品	●制御基板	不具合発生時	

「故障かな？」と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。こんなときは故障ではありません。

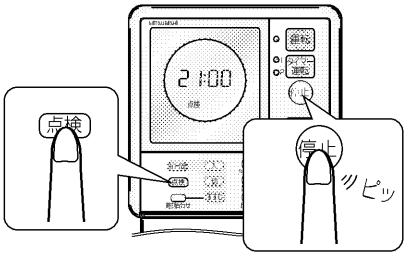
故障かな？（症状）	お答えします。（原因）
リモコンの運転ランプ（運転、タイマー、ハイパワー）が点滅する。 室外ユニットが運転しない。 暖まらない。 （外気温度が低いとき）	■外気温度がおよそー 20℃を下回っているときに、運転を開始しようとすると室外ユニット保護のため、室外ユニットは運転しません。 また運転中に外気温度がー 25℃を下回った場合など、保護のため、室外ユニットの運転が停止することがあります。 外気温度が上昇すると室外ユニットは自動的に運転を開始します。
リモコンの運転ランプ（運転、タイマー、ハイパワー）が点滅する。	■外気温度がー 25℃を下回っていることをお知らせしています。（室外ユニットが停止することがあります。） ■リモコンの暖房の表示も点滅している場合は、モード不一致です。P. 6
暖房運転中、室外ユニットの運転が 10 分ほど止まる。	■室外ユニットについた霜をとかしています。（霜取運転） 長くて 10 分で終了しますのでそのままお待ちください。 （外気温度が低く、湿度が高いときに霜がつきます） 但し、温水循環方式のためその間も暖房はとぎれません。
室外ユニットから水または水蒸気が出る。	■冷房時に、冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 ■暖房時に、霜取運転でとけた水または水蒸気が出るためです。 ■暖房時に、熱交換器についた水が滴下するためです。
暖房運転停止操作後、しばらく（5～10分ほど）室外ユニットが運転している。	■停止前に霜取運転を開始したためです。 霜取運転終了後停止します。
水の流れるような音や〝プシュ〟という音がする。	■冷温水や冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切り換わるとき（霜取運転など）の音です。
よく冷えない。 よく暖まらない。	■床暖房やパネルヒーターと同時に室内ユニットで暖房運転をすると、温水温度が低下し床暖房やパネルヒーターの暖まりが弱くなることがあります。 ■外気温が高いとき、冷えにくい場合があります。 ■外気温が低いとき、暖まりにくい場合があります。 ■雪が積って室外ユニットの吹出口や吸込口を塞いでいませんか。 ■湯温設定が低いまたは、床温設定が低いと暖まりにくい場合があります。
すぐに冷えない。 すぐに暖まらない。	■冷温水循環方式のため、長時間停止した状態からの運転開始時には、水を温めたり冷やすために時間がかかることがあります。 ■床暖房やパネルヒーターなど輻射や自然対流による暖房の場合、室温の上昇に時間がかかります。
〝ピシッ〟という音がする。	■温度変化で部品が膨張・収縮してこすれる音です。
再運転をしても、３分間ほど動かない。	■室外ユニットの保護のため、止まっています。 ３分たてば運転しますので、そのままお待ちください。

異常時の処置方法

表示 熱源機リモコン VEZ-406RCD2	表示 ルームリモコン VEZ-4RC2	原因	処置
—	「暖房」表示が点滅する。	・熱源機リモコンにて停止設定されている。 ・冷房またはドライモードになっている。（熱源機リモコンでの設定または室内ユニットが冷房またはドライ運転されている）	・熱源機リモコンにて運転設定、暖房モードにする。 ・室内ユニットの運転を停止するか、室内ユニットを暖房モードに設定する。室内ユニットの操作方法については室内ユニットの取扱説明書でご確認ください。
ランプも点灯しない、表示部に表示がでない。		電源が入っていない。	熱源機の電源（ブレーカー）を入れる。
		リモコン接続コードがはずれている。	お買上げの販売店にご連絡ください。
「リモート」表示が点滅し、運転操作が受け付けない。	—	熱源機を遠隔制御しています。運転に関わるリモコン操作を禁止しています。	異常はありません。遠隔制御しているシステムの使用方法をご確認願います。詳しくはお買上げの販売店にご確認願います。
—	「床温」が点滅する。（運転中）	床温が35℃以上であることを推定した。	一時的に運転を止め、加熱を防ぎます。運転に支障はありません。ひんぱんに表示されるときは、湯温を自動モードにするか、低めにしてください。
「点検」と「水」が点滅表示される。		循環液が不足しています。	・本体や配管接続部から防錆循環液が漏れていないか確認してください。 ・防錆循環液の補充が必要です。お買上げの販売店にご連絡ください。 ・一旦すべてのリモコン、室内ユニットを停止させた後、運転を再開してください。不足具合によっては、約10時間運転を継続できます。
運転ランプが点灯し、表示もするが暖まらない。		熱源機本体内のスイッチ設定が違っている。リモコンと熱動弁（各放熱器の通水を制御しています）の設定が誤っている。	お買上げの販売店にご連絡ください。
「点検」と「xxxx」４桁のコードが点滅表示される（エラーコードの表示）。		システムに異常が発生している。	全てのリモコンの表示、室内ユニットの表示内容もご確認の上、お買上げの販売店にご連絡ください。リモコンの表示が消えた場合は、下記手順にて確認することができます。
バックアップヒーターユニット運転表示が点滅する。		・バックアップヒーターユニット運転頻度が高い（1日10時間以上） ・ハイパワー運転の使いすぎ ・積雪などで室外ユニットの吹出口や吸込口がふさいでいる。	・室外ユニット近傍をご確認ください。 ・通常運転でご使用ください。表示解除後、それでもひんぱんに表示される時は、お買上げの販売店にご連絡ください。表示解除は下記手順にて可能です。

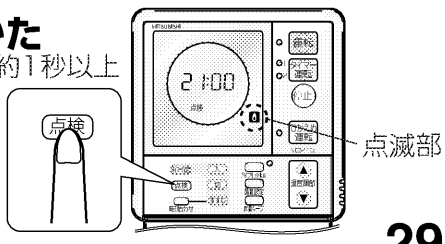
エラーの再表示のしかた（リモコン共通）

1. 停止スイッチを押し、停止させます。
2. 点検スイッチを約１秒間押し続けます。
   最新のエラーコード表示を再表示します。
   約10秒後、自動的にエラーコード表示を消灯し、通常の表示に戻ります。



バックアップヒーターユニット運転表示点滅の解除のしかた

上記処置後、下記手順にて解除します。
・点滅表示中に、点検スイッチを約1秒間押し続けます。
　点滅が解除されます。



もう一度お確かめください

こんなときには	お確かめください
動かない。	■ブレーカーが切れていませんか。
よく冷えない、暖まらない。	■温度の設定が適切になっていますか。 ■ひかえめモードになっていませんか。 ■室外ユニットの吹出口・吸込口をふさいでいませんか。降雪地域では雪で埋まっていないか確認してください。 ■パネルヒーターのバルブを閉じていませんか。 ■室内ユニットとパネルヒーターなどを同時運転していませんか。 ■ドアが開放になっているとよく冷えない、暖まらないことがあります。 ■水温設定が低すぎ（高すぎ）になっていませんか。 ■床温キープ設定が低すぎになっていませんか。
停電があったとき。	■復帰後に停電前の運転状態に戻りますが、タイマー運転の場合は、停止となります。あらためて現在時刻を設定し、運転しなおしてください。P. 8, P.18 ※室内ユニットは短時間の停電でも復帰しません。停電後は停止となります。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、お買上げの販売店にお問い合わせください。

※冷房運転時にパネルヒーターや床暖房パネルが冷えている場合は、冷水が流れていることが考えられます。お買上げの販売店にお問い合わせください。

お知らせ

■電波の弱い地域では、テレビ・ラジオなどにノイズが入る場合があります。その場合は増幅器などの取付けをおすすめします。

■雷が鳴り出したら、早めに運転を止め、ブレーカーを切ってください。
電気部品が損傷することがあります。

保証とアフターサービス

三菱ヒートポンプ冷温水システムのアフターサービスは、お買上げの販売店にご相談ください。

保証書

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保 証 期 間……お買上げ日から２年間
保証の対象……「三菱ヒートポンプ式冷温水システム」を構成する当社製の機器
保証の範囲……構成機器におけるシステム設計・施工に起因しない機能部品の故障に関わるサービス
（詳しくは「保証書」をご覧ください。）

■施工チェックシートも同時にお受け取りいただき、販売店のチェックが記入されていることをご確認ください。
（保証は当社の認定工事店が、正規の工事を行ったことが前提です。）
■保証には、必要事項が記載された「保証書」および「施工チェックシート」のご提示が必要です。

補修用性能部品の保有期間は

■当社は、ヒートポンプ冷温水システムの補修用性能部品を製造打切り後９年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

『「故障かな？」と思ったら』・「もう一度お確かめください」にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、使用を中止してお買上げの販売店または三菱電機 修理窓口にご連絡ください。
ご連絡の際にはリモコンや室内ユニットの表示内容を合わせてお伝えください。

■保証期間中は

修理に際しては、保証書と施工チェックシートをご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代（出張料）などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1．三菱ヒートポンプ冷温水システム
2．形名　VEH-406HCU-K3（または -M3）
3．お買上げ年・月・日
4．故障内容　できるだけ具体的に
5．住所・名前・電話番号　付近の目印なども

仕様

仕様 ＼ 形名	熱源機（熱交換ユニット・室外ユニット）VEH-406HCU-K3/M3・VEH-406HPU3(-H)
電源	単相　200V
ヒートポンプ冷房能力〈kW〉	3.5
ヒートポンプ暖房能力〈kW〉	6.0
ヒートポンプ消費電力〈kW〉	冷房 1.4　　暖房 1.5（最大 2.5）
ヒートポンプ運転電流〈A〉	冷房 7.4　　暖房 7.9（最大 13.1）
運転音〈dB〉	熱交換ユニット　冷房　25　暖房　25 室外ユニット　冷房　47　暖房　49
質量〈kg〉	熱交換ユニット　15　室外ユニット　38
外形寸法〈㎜〉	熱交換ユニット　高さ 480 ×幅 350 ×奥行 260 室外ユニット　高さ 550 ×幅 800 ×奥行 285
循環液仕様	三菱純正防錆循環液
冷媒	R410A

※暖房性能は、外気温度 7℃、温水出口温度 40℃、戻り約 22℃、流量 5L/min 時の性能値です。（弊社純正防錆循環液使用時）
※冷房性能は、外気温度 35℃、冷水出口温度 7℃、戻り 12℃、流量約 11L/min 時の性能値です。（弊社純正防錆循環液使用時）
※性能は熱源機に接続される放熱器の構成により異なります。また外気温などによっても異なります。
※停止時の消費電力は約 7W です。
※運転音は反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に取り付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け、表示数値より大きくなることがあります
※室外ユニット凍結防止ヒーターの消費電力は 100W です（H タイプのみ）

仕様 ＼ 形名	バックアップヒーターユニット VEZ-20HT2
電源	単相　200V
消費電力〈kW〉	2.0
運転電流〈A〉	10
質量〈kg〉	5.2
外形寸法〈㎜〉	高さ 365 ×幅 204 ×奥行 150

※ご使用のシステム構成により、バックアップヒーターユニットが据付けされない場合があります。

仕様 ＼ 形名	熱源機リモコン VEZ-406RCD2	ルームリモコン VEZ-4RC2
消費電力〈W〉	0.165	
通信距離〈m〉	総延長　100	
質量〈g〉	170	
外形寸法〈㎜〉	高さ120×幅120×奥行18	

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

愛情点検

☆ 長年ご使用の空調システムは点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- こげ臭いにおいがする。
- 運転音が異常に大きくなる。
- 冷房運転時パネルヒーター、床暖房パネルが結露する。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 漏電遮断器がひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、ブレーカーを切って必ずお買上げの販売店に点検、修理をご相談ください。

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。（材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町 1 番 3 号

この説明書は、再生紙を使用しています。